

サイエンスツアーin福井

○口頭発表

私たちは、福井市地域交流プラザ アオッサ(AOSSA)の福井県県民ホールにて、口頭発表を行いました。ここでは、生物や物理、化学など様々な分野に分かれての発表で、私たちは「生物」分野での発表となりました。

本番では、時間調節や質疑応答も上手くいき、練習の成果が出たのではないかと思います。また、他校の発表では、動画を使ったスライドやわかりやすい説明など、今後の授業や探求において活用出来そうな知識を多く身につけることが出来ました。

口頭発表全体を通して、厚木高校の生徒に発表する時とはまた違った緊張感があり、また、全く面識のない人と質問の受け応えをする等、とても貴重な社会見学の一環になったと感じています。

○ポスター発表

その後ポスターを用いてのポスター発表を行いました。

厚木高校内での発表と大きく異なった点のひとつとして、発表を聞く際の姿勢、着眼点がありました。

後日行った厚木高校内での発表と比較すると、厚木高校内では、実験の過程に説得力があるかどうか注目される傾向にあるのに比べ、ここでの発表では結果の見方、解釈についての質問が多かったです。

実験結果についての細かい質問を受けたことで、有意差が有意水準より大きかった、小さかったの完全な二択でなく、どれくらい大きかった、どれくらい小さかったという見方をすることの重要性を学びました。

○恐竜博物館での講義

翌日、私たちは福井県立恐竜博物館を見学しました。博物館では、初めに博物館の研究員の方による講義を受けました。講義では、化石をどのように掘り出すのか、どのようにして化石を研究していくのかなどの技術的なことはもちろん、なぜこの地層にはこの化石が見つかるのか、なぜこの地域ではこの化石が多く見つかるのかなど、歴史的な視点からの話もあり、地学の面白さに触れることができました。

また、実際に研究している方から直接お話をお聞きし、楽しそうに話している姿を見て、化石研究に対する情熱を感じることができました。研究活動の楽しさ、難しさ、奥深さなどを知ることのできる良い機会だったと思います。

貝の化石に関する講義を受けた後、【化石発掘体験】を行いました。

1. 化石発掘体験

化石発掘体験は、まず初めに小さい石の中から化石を見つけ、それらを何の化石か仕分けるという作業でした。

これらの石は実際に勝山市北谷町の化石発掘現場から



運ばれたものであり、実際に目を凝らしてみると、
沢山の化石が埋もれていました。

体験する前は、「そんなに簡単に化石が見つかるのか？」と
思っていたのですが、スタッフの方から化石の特徴などを
教えてもらおうと、初心者でも簡単に見つけることができました。

しかし、難しかったのはここから。

化石の種類は、「骨」、「歯」、「ウロコ」、「貝」
そして「植物」の5種類でしたが、この中から自分の見つけた
化石が一体どの種類なのか見分けるのはとても至難の業でした。
スタッフの方に手伝っていただき、なんとか断定することができま



2. クリーニング体験

次に、覆われている石から恐竜の歯の化石(レプリカ)を
綺麗に取り出す「クリーニング」という作業を体験しました。
体験では、実際に恐竜博物館の研究員の方が利用している機械
「エアースクライブ」を使用しました。

重く、しかも振動し続ける機械を、グローブを付けた不安定な
手で持つことだけでも手振れが酷く、中の化石を傷つけずに
周りの石を削っていくのはなかなか集中力が必要な作業でした。
最後は綺麗に化石を取り出すことができました。



3. CTスキャン観察

最後に、CTスキャンされた化石から特殊なソフトを利用して化石の構造をわかりやすく観察
しました。

それぞれの部位によって色分けや透明度を変化させることができ、最新技術の高度さに驚か
されました。

化石がスキャンされた3Dを覗くことで、肉眼ではわからない化石の内部をじっくりと観察す
ることができました。

○館内見学

この博物館には、「恐竜の世界」、「地球の科学」、「生命の
歴史」の3つのゾーンがあり、私たちの班は主に「恐竜の世
界」を見て回りました。そこには、実際の化石を使ったも
のも含む、50体の恐竜の全身骨格や、恐竜が存在していた
当時の情景を再現したジオラマがあり、その規模の大きさと、
また実際にその世界にいるかのような感覚にとっても驚
きました。

さらに、福井県内で発見された新種の恐竜を初めとした恐
竜化石も展示されており、図などを用いた解説にとっても興
味を引かれ、楽しんで見学することができました。

